

Chor Kleines 47th Concert 2013. 1. 5

東京工業大学混声合唱団コール・クライネス
第47回演奏会

～1st Stage～

G.ヴェルディ作曲

「アイーダ」より 『凱進行進曲』

「ナブッコ」より 『行け、我が思いよ、黄金の翼に乗って』

R.ワーグナー作曲

「タンホイザー」より 『大行進曲』

指揮 深井稜汰(学生)

ピアノ 山部陽子

演出 國松真知子

～3rd Stage～ (OV合同ステージ)

W.ウォルトン作曲

「ベルシャザールの饗宴」

指揮 大谷研二

ピアノ 山部陽子 バリトンソロ 松平敬

オルガン 大竹くみ オーケストラ 横浜シンフォニエッタ

～2nd Stage～

I.リードホルム作曲

「De profundis」

(2012年コンクール自由曲)

J.サンドストレム作曲

「Gloria」

指揮 大谷研二

[チケット全席指定]

前売価格 S席1800円 A席1350円 B席900円

当日価格 S席2000円 A席1500円 B席1000円

<前売券のお求め先>

東京芸術劇場ボックスオフィス

電話 03-5391-3010 (受付時間10:00～19:00)

Web (PC) <http://www.geigeki.jp/t/>

(携帯)<http://www.geigeki.jp/i/t/>

[お問い合わせ]

電話 080-1657-6628 (担当:池田)

メール concert@chorkleines.com

ホームページ <http://www.chorkleines.com/>

Twitter @chorkleines

東京芸術劇場
コンサートホール
2013年1月5日(土)
開場17:00 開演18:00

後援:東京都合唱連盟

今年度の私たちの演奏会はニューイヤーコンサートとなります。
 新年はじめのオペラステージでは生誕 200 周年となる R. ワーグナーと G. ヴェルディのオペラ曲を演出つきで華やかに演奏し、OV 合同 (※) のメインステージは 20 世紀最高の合唱曲の一つと呼ばれる『ベルシャザールの饗宴』をフルオーケストラと共に 250 人の大合唱団で力強く歌いあげ、迫力あるステージにします。
 ニューイヤーを飾るにふさわしい豪華な演奏会に致します。
 ぜひご堪能ください。

※当団では卒団された方を OV(Old Voices) と呼びます

東京工業大学混声合唱団 コール・クライネス

昭和 38 年 10 月に誕生、東京工業大学の学生を中心に、清泉女子大学、日本女子大学、フェリス学院大学など複数大学の学生で構成される団員数 150 名以上の大学合唱団。朝日新聞社・全日本合唱連盟主催の全日本合唱コンクールに出場し、14 年連続金賞を受賞。



常任指揮者 大谷研二

1980 年武蔵野音楽大学声楽科卒業。1983 年ヨーロッパに留学。E. エリクソン、H. リリング、W. シェーファーに師事。フランクフルト音楽大学合唱指揮科を卒業、ディプロマを取得し、1989 年帰国。1990 年東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスに迎えられる。
 現在、NHK 東京児童合唱団指揮者・音楽アドバイザー、東京混声合唱団指揮者、活水女子大学音楽学部学術研究所教授。
 中世から現代に至る色彩豊かな作品の紹介と流麗な指揮によって高い評価を受けている日本を代表する合唱指揮者の一人である。

ピアニスト 山部陽子

武蔵野音楽高校、同音楽大学ピアノ科卒業。神奈川県立音楽堂推薦音楽会に出演。'92 年第 2 回日本クラシック音楽コンクール優秀賞受賞。
 ソロの他、オーケストラとピアノコンチェルトで多数共演している。'00 年よりワルシャワ・フィル＝コンサートマスターと日本やヨーロッパ各地で室内楽演奏会を行い、国際音楽祭にも度々招聘される。藤沢市民オペラは '85 年より音楽スタッフとして毎回参加し、現在に至る。合唱団との共演も多く、東工大コールクライネスとは長年苦業を共にしている。
 「21 世紀の合唱名曲選」とピアノソロ CD「音のエッセイ」がある。
 日本演奏連盟、ピアノ教育連盟各会員

バリトンソリスト 松平敬

愛媛県生。東京芸術大学、同大学院に学ぶ。2007 年、シュトックハウゼン講習会 (ドイツ) においてシュトックハウゼン賞を獲得。シュトックハウゼンの 50 分の大作《私は空を散歩する》を日本初演するなど彼の作品の紹介にもつとめる。2010 年には、全曲一人の声による多重録音による CD『MONO=POLI』をリリース、平成 22 年度文化庁芸術祭レコード部門において優秀賞を受賞する。さらに今年の 5 月、タリスの 40 声のモテット《Spem in alium》を一人の声で多重録音した音源をふくむ 2nd アルバム『うたかた』を発表。同年 8 月には、サントリー・サマーフェスティバルでのクセナキス《オレスティア》公演に出演、その壮絶な歌唱は、新聞各紙などから高い評価を得た。現在、文教大学、聖徳大学講師。

オルガニスト 大竹くみ

桐朋学園大学作曲理論学科卒業。同研究科修了。第 58 回日本音楽コンクール作曲部門第 1 位。作曲を三善晃、ピアノを金澤桂子、オルガンを小林英之の各氏に師事。
 ピアノをはじめ電子オルガン、パイプオルガン奏者としての活動範囲も広く、小澤征爾指揮水戸室内管弦楽団や故岩城宏之指揮六本木男声合唱団、東京混声合唱団、NHK 東京児童合唱団等とも共演している。グリゼー「音響空間」の Hammond オルガン演奏は指揮者より絶賛された。エイベックスから発売された CD、森麻季の「アヴェ・マリア」では、オルガン版編曲と演奏をしている。現在、洗足学園音楽大学講師。

演出 國松真知子

東京芸術大学声楽科を卒業後、ミラノ・ヴェルディ音楽院に声楽留学。帰国後、大学院にて演出を履修。文化庁の在外研修員としてローマ歌劇場にて研鑽を積む。神奈川県を中心に、各地方にてコンサートやオペラ公演の演出を手懸ける。『エトワール』『スイブレット』の本邦初演、芸大・二期会合同公演『コシ・ファン・トゥッテ』、芸大古楽科と毎日新聞共催でバロック音楽を軸としたシリーズの舞台等演出。東京芸大講師・二期会オペラ研修所講師。

横浜シンフォニエッタ

1998 年指揮者 山田和樹 (音楽監督) を中心に「TOMATO フィルハーモニー管絃楽団」として結成。東京芸術大学卒業生・在学生を中心に構成される。99 年 12 月公式デビュー。05 年 11 月「横浜シンフォニエッタ」に改名し横浜市を中心に活動するプロオーケストラとして活動を開始。08 年 11 月ミュージックアドバイザーに小林研一郎が就任。09 年 9 月第 51 回ブザンソン国際指揮者コンクールにて音楽監督 山田和樹 が優勝。10 年 1 月「一般社団法人横浜シンフォニエッタ」設立。「ブラームス・メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲」「ビゼー・モーツァルト・二つのハ長調交響曲」「シューベルト交響曲第 8 番『グレート』」の CD をリリース。



2013.1.5(土)

東京芸術劇場コンサートホール

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩 2 分。駅地下通路 2b 出口と直結